



こまくさ

令和2年
12月25日(金)
No.36

《教育目標》～夢に向かって やさしく! かしこく! たくましく!～

明日から冬休み! ～事故のない工夫した冬休みを～

学校では今日『楽しみだね!冬休み』集会を開きました。明日からは19日間の冬休みに入ります。12月に入ってから寒波の影響でたくさん雪が降りました。休み時間には外に出て雪遊びをする子どもたちがたくさん見られ、さすが風の子、元気いっぱいうれしく思いました。昨日の雨で大分雪が解け、しめった状態に変わりました。29日頃には再び大雪が予想されています。冬休み中は車の事故、雪の事故に十分注意して有意義に過ごしてほしいと思います。

集会では、新型コロナの感染防止のため大変な年になってしまったこと、しかし人は工夫して考えて行動すると安全に楽しく暮らせることなどについて話しました。全国で感染者が急増しているニュースを聞くと、年末年始はなかなか出歩けない状況にあるかと思えます。いつもの年にできている楽しいことができなくなるかも知れませんが、工夫してできることを楽しむ、普段やれていないことをこの機会にやってみるといような冬休みにしてほしいと思います。

子どもたちは本当に一生懸命にがんばった年でした。冬休み中も自分の計画に沿ってけじめある生活をしたり、勉強をがんばったりしてください。また、是非家庭の一員としてできる仕事(お手伝い等)を見つけて、がんばってほしいと思います。1月14日(木)に、また少し成長した子どもたち全員が、元気で学校に登校してくれるのを楽しみにしています。

保護者の皆様方、2020年大変な年になりましたが、学校に対するご理解とご協力に感謝申し上げます。よいお年をお迎え下さい。

【集会で発表してくれた代表児童の作文を紹介します】

後きがはじまってがんばったことと冬休みについて

2年 K.Mさん

わたしは、後きがはじまって、あいさつをがんばりました。あいてが気持ちよくなるようなあいさつをがんばりました。明るく、元気なあいさつができて、よかったです。冬休みがおわってからも、みんなが元気になるように、あいさつをつづけていきたいです。



明日からはじまる冬休みでは、二つのことをがんばります。一つ目は、書きぞめです。わたしはしゅう字をならっています。いっしょうけんめいにとりくんで、ていねいに書くことができるようになってきました。冬休みの書きぞめでも、このちょうしでちょうせんしていきたいです。二つ目はスキーです。すこしこわくてあまりじょうずにすべることができない時があります。あんていしてすべることができるように、ゆきを出して、楽しくすべることをもくひょうにがんばりたいです。

もうすぐ2年生がおわります。やさしい3年生をめざして、どんなことにもいっしょうけんめいにチャレンジしていきたいです。

これまでがんばったことと、冬休みががんばりたいこと

3年 T.Kさん

ぼくが後期にがんばったことは二つあります。

一つ目は、べんきょうです。前期は、チャレンジテストであまり百点を取れませんでした。でも、後期になって、一人べんきょうをたくさんやるようにしたら、いっぱい百点をとれるようになってよかったです。



二つ目は体育です。マット運動やとびばこで、上手な人のやり方を見て、たくさんれんしゅうしました。そうしたら、とびばこで、二年生のときはとべなかった、三段以上をとべるようになりました。

次に冬休みにがんばりたいことは、二つあります。

一つ目は早ね早おきです。三年生になって、九時半とか、ちょっとおそくなるようになったので、冬休みはそうしないようにがんばりたいです。

二つ目は、病気にかからないように気をつけることです。コロナとかこわい病気があるので、たくさん人が集まってみつになる所はなるべくさけたいです。でも、冬休みはお父さんとスキーに行ったり、庭に雪だるまをつくったり、楽しいことがたくさんあるので、明日からが楽しみです。

これまでのふり返りと 冬休みにがんばりたいこと

5年 H.Fさん

五年生になって、大きく変わったことは、勉強がむずかしくなったり、委員会の活動があったりしたことです。勉強は大変だったけど、しっかり練習して、テストなどでいい点数を続けて取ることができました。これからももっとがんばりたいと思います。

委員会も、しっかりできるかなと、不安でしたが、六年生や、同じ五年生の友達と協力して、自分の仕事をすることができました。

冬休みにがんばりたいことは、家庭学習やお手伝いです。一人勉強は、一時間を目標にがんばっています。私は、細かくやっているんで、一ページしかできないことが多いです。冬休み中は、内容をしっかりさせながら二ページを、時間いっぱいがんばりたいです。

お手伝いでは、料理のお手伝いと、くつの整頓をがんばります。めんどくさがないで、毎日しっかりやりたいです。

冬休みが終わると、六年生になる日が、いよいよ近づいてきます。わたしは、下級生に優しくしたり、自分の役割にしっかり取り組んだりしながら、たよれる六年生になれるようにがんばりたいです。



SDGsバッジ贈呈式がありました

仙北市は平成30年6月に『SDGs 未来都市』に選定されました。SDGsとは国連が定める「持続可能な開発目標」のことです。この度、仙北市教育委員会より市内全小・中学校児童生徒、職員にSDGsバッジが配られました。12月21日、熊谷教育長さんから6年生のS.Aさんへ贈呈されました。一人一人ができることから取り組んでいってほしいと思います。

本日は、SDGsバッジをいただき、ありがとうございます。17色からなるこのバッジは世界の課題を網羅した17の目標だということを初めて知りました。

この17の目標の中で、小学生の私にできることは何かと考えた時に、一番最初に思いついたことは環境問題についてでした。社会の授業で、昔の人たちは少ない資源を大切に、何でもムダにしないで生活していたことを学びました。でも、私が生きている現代は、昔の生活とは大きく異なり、お金さえはらえば何でも買って、食べられて、まだ使える物でも簡単に捨てられる時代になってしまいました。このことから、私は物を大切にしたいと思いました。具体的に何をするかというと、まず第一に、私たちにとって何より大切な勉強道具であるノートや消しゴム、鉛筆を使えなくなるまで使い切ることです。また、給食や家で出された食べ物は、残さず食べる、さらにおこづかいをもらってもムダ使いせず、必要な物を必要な分だけ買うことです。

生保内小の六年生として、みなさんをお願いします。みなさん、どんなに小さいことでもいいので、できる目標を立てて、一つずつその目標を達成していけるように頑張ってください。

6年 S.Aさん



バッジ贈呈後、お礼のあいさつをしたS.Aさん(右)